

2024年度 法科大学院

第1期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2) この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3) 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 解答は必ず [小論文1] の解答は [小論文1] の解答用紙に、[小論文2] の解答は [小論文2] の解答用紙に、記入してください。
- (5) 下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6) 参照は不可となっています。
- (7) 解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8) 試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9) 問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文1]

以下の文章を読んで、続く問いに答えなさい。

まだ暑気が残る夜道を靖国神社方面に足を引き摺る男の姿があった。一口坂交差点で立ち止まる。帯坂の日本棋院から10分ほどのところなのに、そこはもう囲碁棋士古井真吾の知らない世界であった。対局が終われば市ヶ谷からJRに乗るのが常で、靖国通りを神社の方向に歩くなど思いも寄らないことであった。

今日の対局は名人リーグ入りを決める大一番だったが、真吾は勝てなかった。先番の真吾は、33手目に持ち時間を1時間使った。ここはAIを使って研究している若手なら打つ手は決まっているところで、相手の神山七段は真吾の長考を不思議そうな面持ちで眺めていた。真吾もその手はそれなりに研究していて、実際その手で勝った対局が幾つかある。それなのに、今日はそこに手が行かなかった。

長考の間、師匠の椎葉八段の温顔が幾度も脳裡に浮かんだ。真吾が弟子入りしたとき椎葉はもうかなりの齢で、弟子の入段の報告を聞くと直ぐにこの世を去った。「真吾は名人になる」というのが最期の言葉であったという。今日はその期待に応えて一歩踏み出す大きなチャンスだったが、AIの手を知っていながら、それを打たないで負けてしまった。この事実を心の中で消化するための時間が今夜の真吾には必要だったのである。

靖国神社に差しかかったところで、「おーい、古井君」と声がかかった。振り向くと、そこには小竹九段の笑顔があった。「ここは帰り途なんだ。神楽坂で一杯飲まないか。」

(料亭にて)

小竹 どうだい、いい店だろ。若い頃、君の師匠の椎葉先生にずいぶん目をかけて頂いてね。ぼくが名人のタイトルをとった時に、ここでお祝いして下さったんだ。ところで、君の今日の碁を見物させてもらったけど、33手目でどうしてあそこに打ったの？ AIがその一つ隣りを推奨していることは、ぼくのような老人でも知ってるよ。

真吾 打てなかったのです。AIの手はわたしも研究しています。でも、どうしてそこに打つのがいいのか実はよく分かっていないのです。それに、あの手は好きではありません。

(女将が酒と突出しを持って入ってくる)

女将 いまAIと聞こえましたが、囲碁の先生方もAIをお使いになるのですか。

小竹 女将さん、AIはね、囲碁で進歩したんだよ。以前は強い棋士たちが遺した棋譜を覚え込んでいたんだけど、やがてルールさえ教えてやれば自分で学習するようにな

ってね。ルールと言ったって、黑白交互に一手ずつ打つ、呼吸点のないところに打ってはいけない、生き残った石で囲った地の多い方が勝ち、それくらいかな。だから、AIも最初はおかしな手を打っていたよ。でも、機械は疲れないからなあ。人間はあつという間に置いて行かれちゃった。もう、ぜんぜん歯が立たない。女将さんなら勝てるかもしれないけどね。

女将 あら、うれしい。「囲碁初級者の料亭女将、AIに勝利！」きっと大ニュースになりますわ。

真吾 口をはさんで失礼ですが、実際にアマチュアがAIに勝利したという新聞記事を最近読みました。

小竹 その話は、ぼくも知ってる。対局前にコンピューターでAIの弱点を洗い出す作業が行われたそうだね。だけど、弱点を教えてもらったって、ぼくは勝てないだろうなあ。プロ棋士の本性が出てしまうからね⁽¹⁾。古井君はどう？ あ、女将さん、紹介が遅れたけど、こちらは古井真吾君。椎葉先生の最後のお弟子さんだよ。

女将 おやまあ、そうでしたか。では、すぐに椎葉先生がお好きだったお料理をお持ちしますから、しばらくこれでお酒を召し上がっていて下さいませ。

(女将、出て行く)

小竹 それで今日君が打った手だけど、あれは研究しているの？

真吾 相手の応手を3つに絞って、それぞれその先30手ぐらいは調べています。今日の神山君の手もそのうちの1つでしたが、後の変化で読み負けました。

小竹 それなら単純に君が神山君より弱いというだけのことじゃないか。君の打った手は悪い手じゃないよ。それが君の感性に合うのなら、その後の変化をもっともっと深く研究しなくちゃ⁽²⁾。

問1 まずAI（人工知能）の「弱点」がどのような形で現れるのか思考を巡らし、それから下線部(1)の小竹発言の意味についてあなたの理解するところを500字程度でまとめなさい。

問2 小竹九段は、下線部(2)の助言によってどういうことを真吾に伝えたいのだろうか。あなたの考えを500字程度でまとめなさい。

[小論文 2]

下記の【課題文】を読み、その内容を踏まえた上で、【問 1】と【問 2】に答えてください。

解答は、解答用紙 [小論文 2] に記入してください。[小論文 2] では、字数指定はありません。

解答の際には問いの番号を明記して解答してください。

【課題文】

<省略>

<社説 毎日新聞 2023 年 6 月 8 日より>

【問 1】 (30 点)

文化芸術の分野での生成 A I の活用にはどのような問題があると課題文は指摘しているか、記載しなさい。

【問 2】 (20 点)

文化芸術の分野での生成 A I の活用により起こる問題にはどのように対応すべきか、課題文の見解をまとめた上で、あなたの考えを記載しなさい。